

令和6年度 長野県岡谷工業高等学校 学校評価表

学校番号 53 岡谷工業高等学校

1 学校教育目標と重点目標 No. 1

学校教育目標	重点目標（中・長期的目標）
教育基本法ならびに学校教育法の精神に則って、次の目標を達成することに努める。 (1) 人格の形成をめざし社会の一員としての必要な資質・能力を養うため、教養を高める。 (2) 日本の工業の構築発展を支える技術者として、地域に根ざした教育活動から、技能・知識・態度を修得する。 (3) 本校伝統の校訓「質実剛健」、「至誠一貫」 校是 「技術者たる前に 人間たれ。」の精神を涵養する。	地域社会から求められる生徒を育成し、より魅力有る工業高校の姿を求める。 (1) 学力の一層の向上に努める。 (2) クラブ活動の充実と活性化に努める。 (3) 地域との連携により、社会に運動した魅力と活力のある学校づくりに努める。
	今年度の重点目標
	(1) 生徒一人一人が、生き生きと充実した高校生活をおくれる安心安全な環境づくり ・いじめや体罰のない安心安全な学校 ・生徒に寄り添った指導や支援（相談・支援体制の充実） ・生徒の前向きにチャレンジする気持ちを育てる雰囲気や環境づくり ・危機管理の徹底（事案発生時には必ず職員間で共有しチームとして対応）
	(2) 生徒の学力を伸ばし、進路実現へとつながる教育 ・観点別評価のフィードバックと授業改善による個に応じた指導と学力の向上 ・ICT機器の活用・授業公開・参観による教員の資質・能力の向上 ・計画的なキャリア教育の実施により、自らの進路への意識づけ
	(3) 地域に根ざした魅力ある学校づくりとこれからの在り方の検討 ・地域との連携やボランティア活動への積極的な取り組み（地域活動への参加、小中学校におけるものづくり教育の連携、高大連携事業など） ・広報活動の強化（きめ細やかな情報発信、中学校訪問など） ・再編に向けて、今後の岡谷の在り方を積極的に検討

2 評価項目と評価の観点

領域	対象	評価項目	評価の観点
教育活動	教育課程	教育課程の検討	新学習指導要領に沿った教育課程の編成と運用・管理により、教育目標の具現化を図ることができているか。また授業実践を積み重ねる中で、教育課程の見直しと研究が組織的に進められているか。
		選択科目の計画	選択科目の設置は生徒の学習意欲と進路目標に即したものであるか。また選択科目説明会や希望調査を行う上で、生徒に応じた適切な支援とサポートが行えたか。
		シラバスの作成	学習内容を精査し、実用的なシラバスを作成することができたか。またシラバスに沿った授業実践と評価活動を計画的に実施することができたか。

No. 2

領域	対象	評価項目	評価の観点	
教育活動	学習指導	学力の向上	学力の把握および観点別評価により学びの課題を明確にし、PDCAサイクルを活用した学習指導が行えたか。また授業アンケート等とおして生徒の声に耳を傾け、学習活動の工夫・改善を行うことができたか。	
		家庭との連携	本校の学びに対する保護者の理解を求め、適切な説明責任を果たすことができたか。また保護者懇談会や家庭連絡票の活用等により、保護者との適切な情報共有を行い、家庭との円滑な連携を図ることができたか。	
		資格取得の推進	各種資格取得の管理・運営をおして、生徒の意欲的な活動を支援することができたか。また資格取得のための指導や補習指導を積極的に行い、生徒の自主性をサポートすることができたか。	
		開かれた学校づくり	中学生・保護者・地域等に向けて、本校の教育活動を理解してもらうための適切な情報発信と働きかけができていないか。また公開授業により本校の特徴と魅力を発信し、来校者の要望に応える活動ができたか。	
	生徒指導	家庭との連携	家庭や学校生活での行動の変化等の心配事や不安、事件・事故・問題行動発生時等に速やかに対応できるように家庭との連携が取れているか。	
		生徒への意識啓発	校内外で起こりうる事件・事故に対して正しく対処するにはどのようにしたらよいか考えさせ、また、常識ある行動を取れるように指導したか。	
		相談体制の充実	生徒が相談しやすい校内体制を整備し、それが安心安全な学校生活につながったか。	
		手続きのアカウントビリティ（説明責任）	生徒指導上の「指導」において、その根拠や手続きについて生徒や保護者に十分な説明と理解がされているか。	
		職員協力体制の確立	日常の生徒指導において、全職員の協力体制と情報共有ができていないか。	
	進路指導	進路希望に応じた進路の実現	早期から段階的で、将来を見据えた系統的なキャリア教育を計画実施し、生徒の希望・能力・適性に応じた進路が実現できるよう指導援助できたか。	
		進路情報の収集・提供	企業研究会や進路相談会の情報交換を通じて詳細な情報を収集・提供ができたか。生徒が情報を得やすいように進路指導室および進路資料室を整備できたか。	
	特別教育活動	生徒会	生徒の自主活動	自主的、主体的な生徒会活動にできるよう本部役員が企画運営を考え活動する中で、達成感や充実感を得ることができたか。また、全校生徒が生徒会活動に対して意識を向上させることができたか。
			部活動の充実	部活動に入っている生徒が日常のクラブ活動を充実させ、各クラブや各自が定めた目標に向けて意欲的に取り組めたか。また、各クラブの活躍を、学校内外に広く伝え、活動の励みにすることができたか。
学校運営	教務	より良い学校運営	・各係、委員会等との組織的な連携を図り、効率的な業務の推進に努めたか。 ・学校全体のバランスを見据え、諸行事の計画および実施において、より良い学校運営に努めたか。	
		地域に開かれた学校づくり	・学校要覧、学校案内パンフレット、学校ホームページ等を利用して、学校の魅力と特徴をタイムリーに発信し、地域にアピールすることができたか。 ・体験入学、公開授業等により、中学生や保護者、地域に対して、本校の教育活動を正しく理解してもらうことができたか。	
		入学者選抜業務	・入学者選抜説明会等を利用して、求める人材、募集の観点について適切な説明を行うことができたか。 ・前期選抜および後期選抜ともに、綿密な計画のもとに、的確な選抜業務を行うことができたか。	